

様式 6

助成事業実施報告書

団体名 資源循環環境研究所

代表者・役職名 氏名 木村 正男

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

環境にやさしい都市八王子を目指して

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

八王子の恩方地区の農家の高齢化で耕作放棄地が増えてきています。またスーパーの野菜レストランの食材も科学調味料や農薬まみれの野菜が多く売られていて昔はなかった様な深刻な病気が多く発生しています。これらの農地を有効活用して安全な食材を提供できる環境を広げていく活動を行っていきます。会員12名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

今まで有機農業と子供の健康について幼稚園の先生、管理栄養士方の意見をききました。畑の野菜作りでは畑の土作りが最も重要であることを実感しました。農薬、化成肥料を一切使用しない畑の土は有益な微生物が多くこの畑の野菜には良い菌が多く付いて害虫の被害が殆んど無いことを実感しました。今年畑のジャガイモで葉っぱの害虫被害はほとんど無く他人の畑のジャガイモは害虫に葉っぱを食い荒らされ野菜の光合成が出来なく成長途中で枯れて芋の表面には黒い斑点のある小さな芋でした。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- (1)八王子の地域の活動を盛り上げる魅力的な活動を、他の市民団体などとの交流を行う。
- (2)子供に野菜を育てる無農薬野菜の美味しさを伝えることでやりがいのある活動となることを目指します。
- (3)畑で収穫した野菜を園児の家に持ち帰り親の方にも食してもらおう活動をおこなっていきます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

今年は無農薬と有機肥料の野菜と子供の食事の健康について、幼稚園の給食の食材となる野菜を栽培して、畑で野菜の生長から収穫までの食育を幼稚園児に行うことが出来ました。ジャガイモ堀などの収穫体験で子供たちが野菜好きになることが期待できます。去年は幼稚園の親子で畑の野菜の収穫体験で約30組の参加でキウイモ、落花生などを楽しく収穫することができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

畑の栽培面積を去年の約2倍に広げて野菜の収穫量を上げることができました。特に4月～10月は色々な種類の雑草が生えて毎日草むしりが重労働になります。(全て手作業)放置すると、畑の野菜の養分を雑草に取られて野菜が育たなくなります。これから幼稚園の給食の食材として(さつま芋、里芋、カボチャ、マウワメロン、ゴーヤ、ヘビウリ、茄子、トマト……)などを栽培していきます。

7. 参考資料、

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

真如苑助成事業

夏の暑い時に畑に野菜の収穫体験に来たときの熱中症対策で休憩小屋の建築

助成金で購入した木材で屋根の梁の取り付け



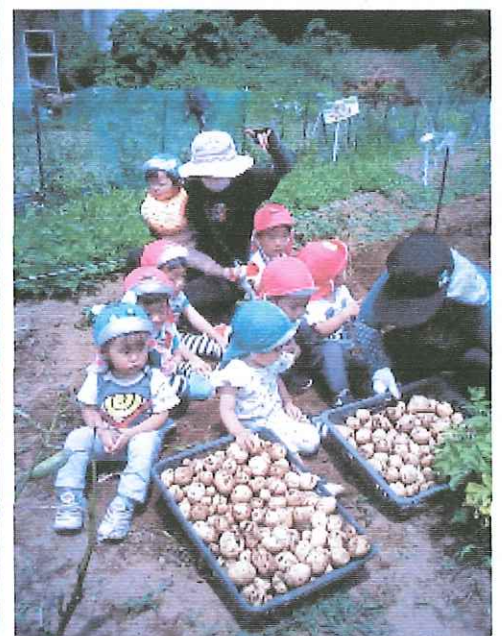
日よけのトタン板の取り付け



助成金で購入した種芋で育てて収穫時期に年長組の園児約90人がジャガイモの収穫体験に



大き育ったジャガイモ（男爵とメクインで250株）を一人で約30個くらい収穫できた。



年中組の園児が植えたひまわりぐんぐん大きくなっています



殆んどの人が見たことの無い珍しいひまわり、必見の価値があります



これから9月下旬頃までひまわりの開花が期待されます。

鮮やかな黄色と中心の花もきれい

1本の軸から2個の花

左の花の後ろから見た花



今までに殆んどの人が目にしたことのないきれいな色取り取りのひまわり
鮮やかな赤紫色のひまわり 沢山のミツバチが群がっています うすい黄色のひまわり



普通のひまわりは一本の軸に一輪の花が咲きますが、今畑に咲いているひまわりは葉っぱの付けねから、新しい芽が出て次から次へと新しい花を咲かせて、一本の花の寿命が大変長く通常のひまわりは8月中旬頃には殆んどの花は枯れてしまいましたがこのひまわりは9月が見ごろです。また別のひまわりは背丈が3メートル以上になるひまわりもあります。



ヘビウリ成長が良くグングン伸びて1.5畝以上になっています。

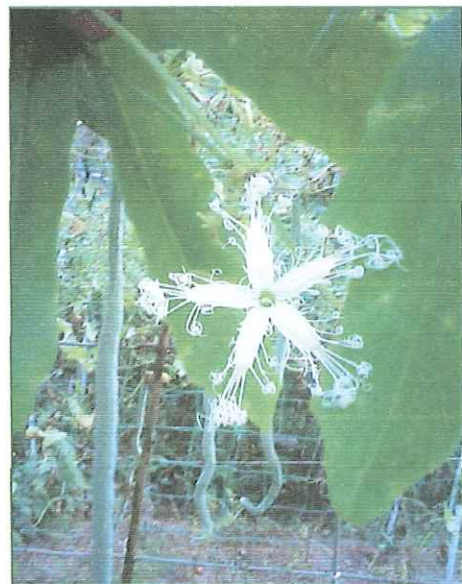


これから9月末まで収穫できるので幼稚園の給食のカレーなど食材に使用



ヘビウリの別名 グリーンナイル

ヘビウリの花 (からすウリ科の植物)



陣馬街道の中間地点、神奈川県との境には、八王子市内で2番目に高い山、陣馬山がそびえています。一説には、戦国時代に北条氏が甲斐の武田氏と対陣していたことから「陣張山」と呼ばれるようになり、後に「陣場山」と名付けられたと伝えられています。

1956年、「陣場観光協会」が設立され、高尾と並ぶ観光地化を目指していきます。その中心にいたのが京王帝都電鉄で、観光客へのイメージアップを図るため、陣馬山から景信山周辺を「陣馬高原」と名付けます。山頂には富士山に向かっていなく「白馬の像」(表紙写真)が建てられ、「陣馬山」という名



▶バス停「陣馬高原下」そばの登山口



▲新ハイキングコースへの入口



▶山頂の碑

称が定着していきました。

陣馬山は「関東の富士見100景」に選ばれた関東屈指の好展望の山で、山頂からは360度の大パノラマが楽しめます。高尾駅から「陣馬高原下」行きバスで終点下車(約40分)し、山頂までは徒歩約90分。藤野駅や高尾山からの登山コースもあり、登山初心者でも登ることのできる行楽向きの山として、季節を問わず多くのハイカーで賑わっています。

ひと休み
コラム

桑の実ファーム

陣馬街道沿いの松竹橋を渡って西へしばらく進んだ圏央道にさしかかる辺りに、500坪の土地を擁する「桑の実ファーム」があります。ここは、諏訪町にある桑の実幼稚園が2017(平成29)年から、無農薬で安心・安全な野菜を育てるために整備してきた農園です。ここで日々、畑の世話をしているのは、もともと恩方地域で無農薬農法に取り組んできた木村正勇さんをはじめ、6名のボランティアの方々です。特に当番などは設けず、メンバーは各々時間があるときにファームへ出向き、畑の手入れをしています。また、駐車場や物置、休憩所など、徐々に周辺の整備を進めてきました。

ん体験できない農作業を思い思いに楽しみながら、自分たちで育てた野菜を食べる、まさに「食育」の体験をしています。

現在育てているのは、トマト、キュウリ、ジャガイモ、キクイモ、パプリカ、カボチャ、スイカ、ヘビウリ(「はちとぴ」31号参照)など。日本ではあまり見られない赤いヒマワリといった珍しい花々も植えられています。桑の実ファーム全体を管理している木村さんは、これからさらにブルーベリー、パッションフルーツなどの果物や、里芋、こんにゃく芋など、次から次へと新しい野菜の栽培に取り組みたいと抱負を語ります。

ただ、恩方地域では、イノシシなどの野獣の農業被害が深刻な課題となっています。桑の実ファームでもさまざまな対策を立てているものの、昨年はフェンスを破られ、サツマイモが一晩で全滅してしまったりもあつたそうです。生き物相手ゆえ、なかなか予定通りにならないところもありますが、大人たちは子どもたちに少しでも喜んでもらおうと、工夫を凝らしながら奮闘しています。



▲桑の実ファームに携わる先方(左端が木村さん)



▶園児たちのジャガイモ収穫

桑の実幼稚園の園児たちは、昨年度から年間を通して、時期を迎えたときに野菜の種まきや収穫体験に向かっています。収穫した野菜は園の給食でも使われるほか、園児たちが持ち帰っています。園児たちは野菜だけでなく、土の中にいる虫や周囲の花々にも興味津々。ふだ

*問い合わせ: 651-1943 (桑の実幼稚園)